

クイック スタート ガイド

Websense V5000 G2

Web & Email Security アプライアンス



開始する前に...

アプライアンスを設定する前に配備を計画します。配備の概要と参照シートは、このガイドの裏面にあります。

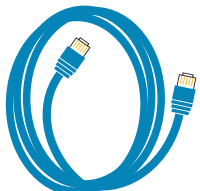
1 内容の確認



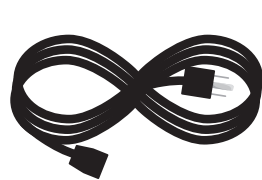
リカバリー用ディスク



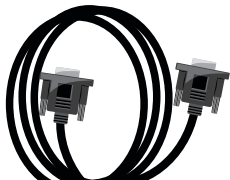
ドキュメンテーション ディスク



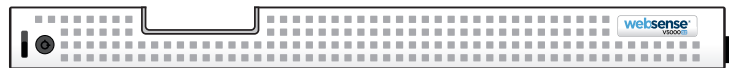
イーサネット ケーブル (4)



電源ケーブル



Null モデム ケーブル



Bezel (フェースプレート)

いずれかの品目が欠落している場合は、Websense サポートにご連絡ください。

2 ラックの取り付け

V5000 G2 アプライアンスのラックを取り付けるには、ラックトレイ (添付されていません) を使用します。

1. ラックトレイを入手し、希望するサーバーのラックに取り付けます。



2. アプライアンスをトレイの上に置き、アプライアンスの前面にある取り付けネジを使ってサーバー ラックに固定します。



3 セキュリティ モードを決める

アプライアンスは下記のセキュリティー モードをサポートします。

- **Web** (Websense Web Security または Web Security Gateway/Anywhere)
- **Email** (Email Security Gateway/Anywhere)
- **Web および Email** (Websense Web Security と Email)

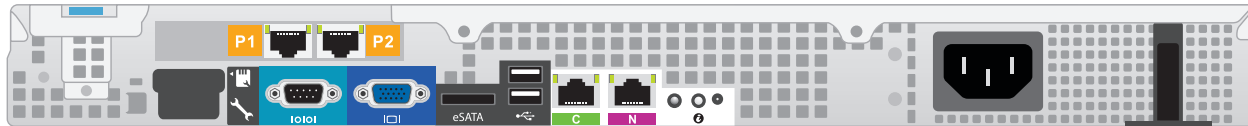
アプライアンスおよび配備計画に基づいて、このアプライアンスに適したセキュリティー モードを決めます。

4 ネットワーク ケーブルを接続する

このアプライアンスのセキュリティー モードによって必要とされるアプライアンス インターフェースを接続します。
Cat 5E ケーブル (またはそれ以上) が必要です。クロスオーバー ネットワーク ケーブルは使用してはいけません。

	Web	電子メール	Web および Email
必須のポート:	C P1* N	C P1	C P1 N
オプションのポート:	P2*	P2	P2

*Websense Web Securityには使用してはいけません。



インターフェース 機能



- アプライアンス モジュールの通信を提供し、インターネットからのデータベースのダウンロードを処理します。
- TRITON Unified Security Center からの接続を受け入れます。



Web モード:

- インターネット要求を受信し、Web サービスと通信するために Web Security Gateway プロキシを有効化します。

Email または Web および Email モード:

- メールを受信および送信するために Email Security Gateway を有効化します。
- パーソナル電子メール管理とクラスタ通信を提供します。
- メール サーバーへのアクセスが必要です。



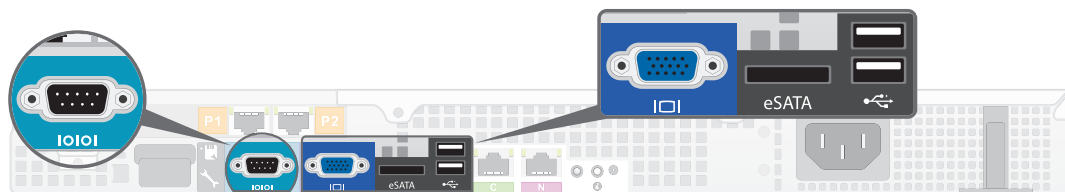
- Network Agent がインターネット要求をモニタできるようにします。
- スイッチ ポートに接続します。N を通じてブロック情報を送信する場合、スイッチ上の双方向スパン ポート、モニタ ポート、またはミラー ポートに接続します。

5 入力デバイスおよび電源を接続する

シリアル ポート接続

または

キーボード/モニタ接続



null モデム ケーブル (添付されています) を使ってコンピュータをモデム ケーブルに接続します。または、ストレートスルー ケーブル (添付されていません) を使ってターミナル サーバーをシリアル ポートに接続します。
シリアル ポートの設定は下記の通りです。9600 baud、8 ビット、パリティなし。

モニタおよびキーボードをアプライアンスに直接にまたは KVM (キーボード/ビデオ/マウス) スイッチを通じて接続します。

6 アプライアンスの電源をオンにする

アプライアンスの電源をオンにして、下記のインジケータを確認します。

前面

- 電源ボタンが点灯している。

背面

- 接続されているインターフェース (NIC) の LED が緑になっている。
- システム ステータス インジケータ (電源の左の LED) が青く点灯している。

いずれかのインジケータが正しく点灯しない場合は、Websense テクニカル サポートにご連絡ください。

7 設定の概要

詳細については、『V-Series Appliance **Getting Started ガイド**』を参照してください。

初期設定

アプライアンス コマンドライン (firstboot スクリプト)

- セキュリティ モードを設定します。
- Appliance Controller インターフェース (C) を設定します。

Appliance Manager

- Logon ポータルを通じて Appliance Manager にアクセスします。
- NTP サーバー/システム時刻を設定します。
- 適用できるネットワーク インターフェースを設定します。

Web モード

TRITON Unified Security Center

- ライセンス キーを入力し、マスタ データベースを更新し、Network Agent を設定し、TRITON - Web Security にポリシーを設定します。
- Windows Server 2008 R2 が必要です。

Content Gateway Manager (プロキシ)

- サイトで Websense プロキシを使用している場合、ユーザー認証を設定し、プロトコルを選択します。

Email モード

TRITON Unified Security Center

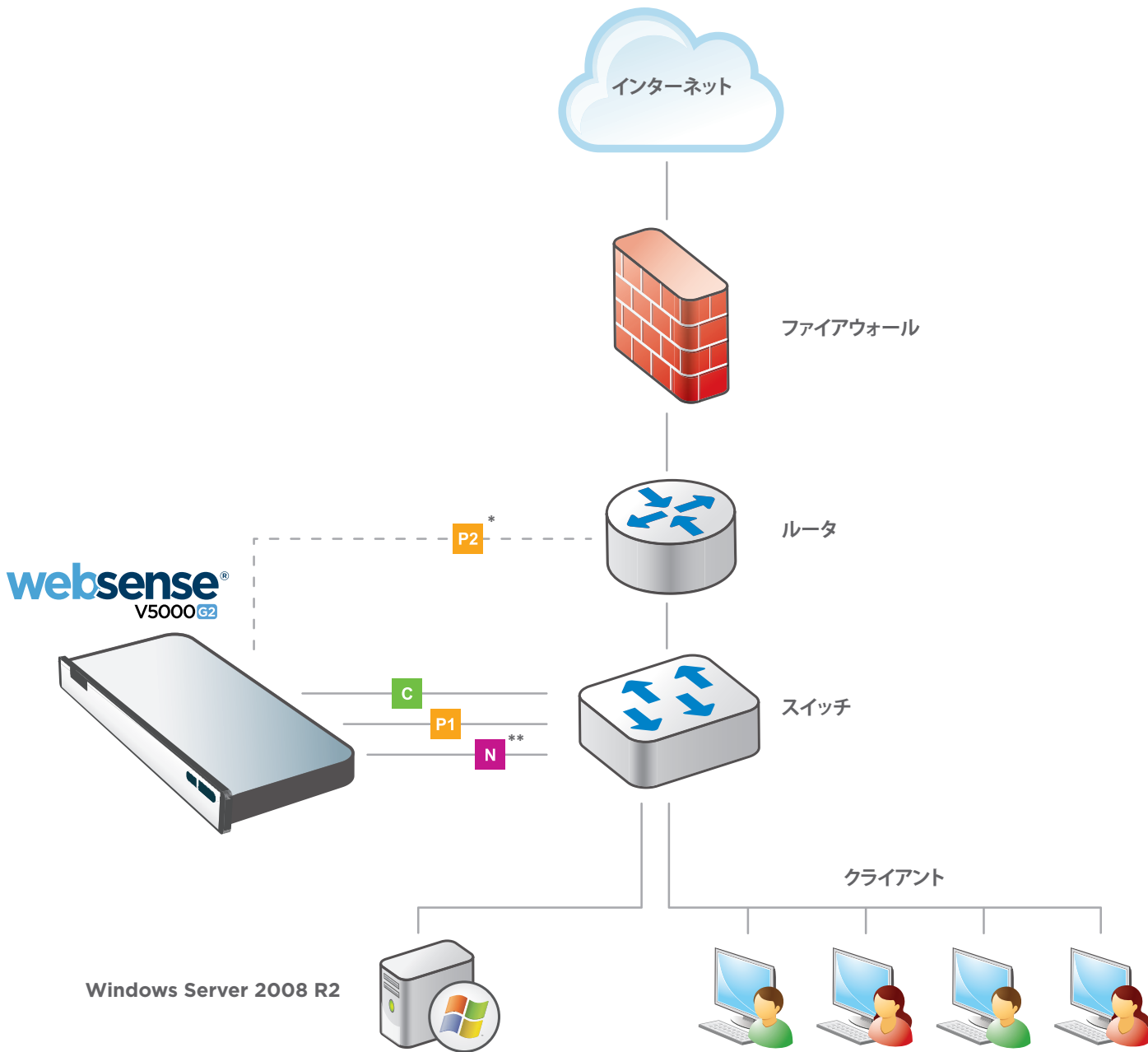
- 設定ウィザードを完了し、ライセンス キーを入力し、TRITON - Email Security にポリシーを設定します。TRITON - Data Security に電子メール DLP ポリシーを設定します。
- Windows Server 2008 R2 が必要です。

Web および Email モード

Web モードとその後の電子メール モードについて上記のステップを実行し、Content Gateway Manager の設定をスキップします。

アプライアンスの配備の概要

ネットワーク上に 1 つ以上のアプライアンスを配備できます。下の図は、基本のアプライアンスの配備を示しています。TRITON Unified Security Center を実行するには、Windows Server® 2008 R2 を備えた別のコンピュータが必要です。詳細については、『V Series Appliance **Getting Started** ガイド』を参照してください。



* P2 はオプションで、ルータまたはスイッチに接続できます。
** N インターフェースをスイッチ上の双方向スパンポート、モニタポート、またはミラーポートに接続します。

サポートおよびリソース

Getting Started Guide
www.websense.com/library/
また、Documentation ディスクにも入っています。

オンライン サポートおよび連絡先
support.websense.com

配備についてのリファレンスシート

アプライアンス情報

ログオンポータルURL: ホスト名:
admin は、Appliance Manager、TRITON Unified Security Center、および Content Gateway Manager のデフォルトのユーザー名です。

Networkの設定

Appliance Controller インターフェース (C)

IP アドレス:		一次 DNS:	
サブネットマスク:		二次 DNS:	
デフォルトゲートウェイ:		三次 DNS:	

Websense Content Gateway / Email Security Gateway インターフェース (P1 および P2)

P1	
IP アドレス:	
サブネットマスク:	
デフォルトゲートウェイ:	
P2	
IP アドレス:	
サブネットマスク:	
デフォルトゲートウェイ:	

上記の設定は、P1 および P2 に適用します。

Network Agent インターフェース (N)

IP アドレス:		一次 DNS:	
サブネットマスク:		二次 DNS:	
デフォルトゲートウェイ:		三次 DNS:	

TRITON Unified Security Center

Web Security

Policy Server IP:	
Log Server IP:	
ライセンスキー:	

Email Security

Log Server IP:	
認証モード:	

SQL Server

IP アドレス:	
ユーザー名:	
パスワード:	

詳細については、『V Series Appliance **Getting Started** ガイド』を参照してください。